

令和7(2025)年度 輝く“とちぎ”づくり表彰

取組募 集



みんなで創る、未来のとちぎ

NPO・ボランティア団体が地域課題の解決に向けて行う栃木県内の優れた社会貢献活動を、「輝く“とちぎ”づくり表彰」(栃木県知事表彰)として表彰します！(表彰式:11月6日(木))



応募
締切

令和7(2025)年
7月31日(木)
(当日消印有効)

応募
方法

自薦または他薦

応募書類に必要事項を記入の上、郵送・持参またはメールにて御応募ください。

目的

栃木県内において地域課題解決に向けて取り組まれている優れた社会貢献活動を表彰し、その重要性を広く周知することにより、社会貢献活動に対する県民の関心を高め、実践を促し、県民協働によるとちぎづくりを推進することを目的としています。

対象

- 次に掲げる要件をすべて満たす取組
- ①県内に拠点を有するNPO等が主体となった取組であること
 - ②県内で現在継続中の取組であること
 - ③行政機関からの委託による取組でないこと

評価 基準

創意性、成果、発展性、波及性、連携度(協働の取組の場合)の観点から総合的に評価し、選考委員会において選考します。

応募・ 問合せ 先

栃木県生活文化スポーツ部 県民協働推進課 協働・多文化共生室
〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20 (栃木県庁本館7階)
TEL.028-623-3422 FAX.028-623-2121
e-mail: kyodo@pref.tochigi.lg.jp

令和6年度最優秀賞

【取組名】食を核とした、困難を抱えたひとへの重層的な支援

○取組団体

特定非営利活動法人フードバンクあしかが/足利市/
社会福祉法人足利市社会福祉協議会

○解決すべき地域課題等

貧困家庭の困難は複雑で、多くの場合は食料支援だけでは解決できず、多方面からの重層的な支援が必要なこと。

民間の支援活動に加え、公的な制度へ繋ぐ活動や、個々の家庭の状況に応じた柔軟で長期的な対応が求められていること。

○取組の概要

フードバンクが困窮者への食品提供をきっかけに、行政の生活相談や社会福祉協議会が実施する地域福祉事業の場面で、行政と民間が連携して困窮者支援を行う関係づくりを行う等、困難を抱える市民を重層的に支える仕組みを構築。

○受賞ポイント

食品提供のできるフードバンクと、生活相談を受けることのできる行政・社協がそれぞれの特性を活かし連携することで困窮者に対して効果的な支援を行っており、他市町におけるフードバンクの活動のモデルとなるような取組であると評価できる。



活動の様子

よくあるご質問

Q NPO等には学生の部活動やサークル等も含まれますか？

A 含まれます。学生の部活動やサークルに限らず任意の団体による取組でも応募可能です。

Q 以前受賞した団体が再度応募することは可能ですか？

A 取組に対する表彰なので、受賞した取組と異なる取組であれば、応募可能です。

Q 過去の取組についても表彰の対象になりますか？

A 表彰の対象となるには、現在も活動を継続している必要があります。また、活動主体に変動がある場合は、応募時点で主体となっている団体のみを応募書にご記載ください。

応募書類など詳しいことは、ホームページをご覧ください。

輝くとちぎづくり表彰

検索

